

第 66 期 報 告 書

2020年4月1日～2021年3月31日



盟和産業株式会社

平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼を申し上げます。さて、当社第66期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期の概況

当連結会計年度の経済情勢は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により停滞・混乱を余儀なくされました。段階的な経済活動の再開やワクチン接種開始により企業の生産活動や個人消費が徐々に持ち直し、全体として景気は緩やかな回復基調に転じましたが、変異ウイルスの蔓延による感染再拡大等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界におきましては、感染拡大を受けて世界各地で自動車生産が一時休止となるなど生産・販売ともに落ち込みましたが、中国で正常化がいち早く進み、その他の地域も夏場以降回復基調で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、社員・関係者の感染拡大防止に向けた各種の取組みを行うとともに、受注変動に合わせた生産体制の見直しや経費の圧縮等、収益改善に取り組んでおります。

当連結会計年度（当社は2020年4月1日～2021年3月31日、海外子会社は2020年1月1日～2020年12月31日）の業績につきましては、第2四半期までコロナ禍による減産の影響を大きく受けましたが、第3四半期以降中国・北米が先行して回復、日本国内も回復基調となりました。年度終盤で半導体不足や地震等による生産調整もあり、売上高は18,311百万円（前連結会計年度比18.1%減）となりました。

損益面は、通期では営業損失515百万円（前連結会計年度は営業利益163百万円）となりましたが、材料費や光熱費の低減など原価低減の強化と組織・体制の見直しを含む固定費の圧縮に徹底して取組み、下半期6ヶ月間では68百万円の営業黒字となりました。経常損失は525百万円（前連結会計年度は経常利益109百万円）となりました。

当社グループが生産拠点を有する日本、中国、タイ、米国の4ヶ国の中でタイについては自動車生産がコロナ前の水準に戻るまで暫く時間を要する見通しであることから、連結子会社MEIWA INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD. の固定資産に関して減損損失338百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は1,028百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益268百万円）となりました。なお、当社グループにとってタイは今後も重要な拠点

の一つであり、グループ間連携を強化して受注拡大に注力してまいります。

監査等委員会設置会社への移行

監査等委員を取締役会の構成員とすることで、取締役会の監督機能を強化しコーポレート・ガバナンスの充実を図るとともに、経営の意思決定を迅速化して更なる企業価値の向上を図ります。

配当について

当社は、企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定しております。

当期の期末配当は、一株当たり普通配当25円とさせて頂きました。なお、中間配当は新型コロナウイルス感染拡大による第2四半期業績への影響を勘案し見合わせいたしましたので、年間の配当は一株当たり25円となります。

次期の配当につきましては、一株当たり年間50円とさせて頂く予定であります。

次期の見通しについて

2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、コロナ影響からの売上回復と収益力強化に向けた取組みの効果により、売上高21,000百万円、営業利益520百万円、経常利益470百万円、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

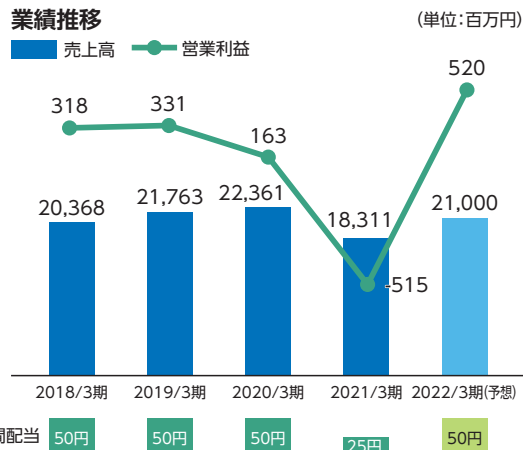


2021年6月
代表取締役社長
飯塚 清

■ 下期から業績回復、 2022年3月期は年間配当50円を計画

2021年3月期は、上期にコロナ禍による自動車減産の影響を受けましたが、下期は国内外の生産回復、特に早い段階で正常化が進んだ中国、米国の牽引に加え、原価低減の強化と組織・体制の見直しを含む固定費の圧縮に取組み、下期6ヶ月間では営業黒字を回復しました。

2022年3月期は、足元では半導体不足等の懸念は残るものの、自動車の生産・販売は回復基調で推移するものとみられることから、収益力を一段と強化し年間配当を50円に戻す計画です。



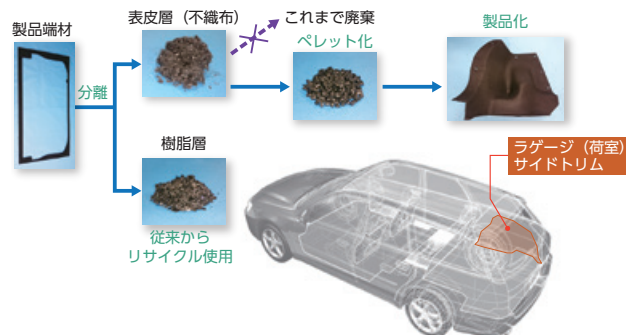
■ 新技術・新製品開発

新技術・新製品開発の事例をご紹介します。受注拡大に加え、自動車の電動化対応、カーボンニュートラルやSDGsの観点からも開発を進めております。

①ラゲージ (荷室) サイド基材

当社の主な製品は、樹脂層と不織布の表皮で構成されていて、製品端材をリサイクルする場合、樹脂層と不織布を分離させます。分離された樹脂層はリサイクル材として使用できますが、これまで不織布の部分は廃棄せざるを得ませんでした。

この製品は、分離不織布をペレットにして全面的にリサイクル活用することにより、環境負荷の低減と低コスト化を実現したものです。



②避難所用間仕切り・簡易ベッド

自動車内装部品として使用しているメイトーン (プラスチックダンボール) に防災性能を付加し、間仕切り、簡易ベッド、断熱ソフト床を組み合わせた製品を開発しました。蛇腹の折り畳み式にしましたので、5分程度で一人で簡単に組立てができます。避難所用だけでなく、ワクチンの集団接種会場や授乳スペースなど様々な用途でのご利用が可能です。



避難所用間仕切り

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 2021年3月31日	前連結会計年度 2020年3月31日
(資産の部)		
流 動 資 産	10,530,244	11,104,096
固 定 資 産	11,460,780	11,778,227
有形固定資産	8,687,038	9,110,902
無形固定資産	365,236	370,714
投資その他の資産	2,408,505	2,296,610
資 産 合 計	21,991,024	22,882,324
(負債の部)		
流 動 負 債	7,574,943	6,909,244
固 定 負 債	4,216,621	4,819,433
負 債 合 計	11,791,564	11,728,677
(純資産の部)		
株 主 資 本	9,777,167	10,893,600
資 本 金	2,167,399	2,167,399
資 本 剰 余 金	2,377,042	2,377,042
利 益 剰 余 金	5,236,134	6,352,259
自 己 株 式	△3,409	△3,100
その他の包括利益累計額	422,293	260,046
純 資 産 合 計	10,199,460	11,153,646
負債・純資産合計	21,991,024	22,882,324

(注) 上記の金額は千円未満を切り捨てて表示してあります。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売 上 高	18,311,358	22,361,600
売 上 原 価	16,051,720	19,149,748
売 上 総 利 益	2,259,637	3,211,852
販売費及び一般管理費	2,775,186	3,048,363
営 業 利 益	△515,548	163,488
営 業 外 収 益	94,701	69,722
営 業 外 費 用	104,957	124,081
経 常 利 益	△525,804	109,129
特 別 利 益	51,579	639,600
特 別 損 失	468,665	104,220
税金等調整前当期純利益	△942,890	644,508
法 人 税 等	85,728	375,526
当 期 純 利 益	△1,028,618	268,982
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,028,618	268,982

(注) 1. 上記の金額は千円未満を切り捨てて表示してあります。
2. 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示してあります。

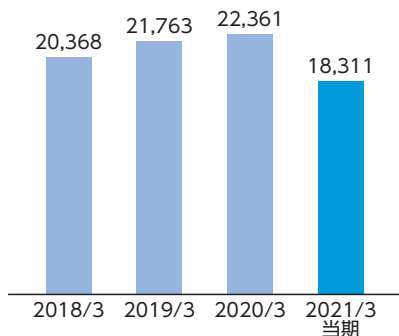
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	446,462	1,812,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,253,142	△693,151
財務活動によるキャッシュ・フロー	555,285	△371,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,823	△13,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△273,217	734,249
現金及び現金同等物の期首残高	3,568,047	2,833,798
現金及び現金同等物の期末残高	3,294,829	3,568,047

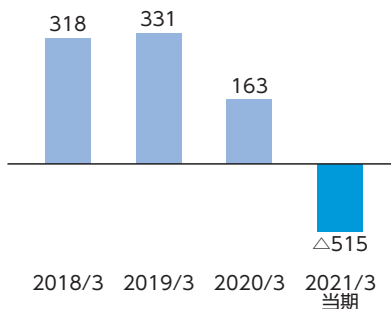
(注) 上記の金額は千円未満を切り捨てて表示してあります。

■ 売上高 (単位:百万円)



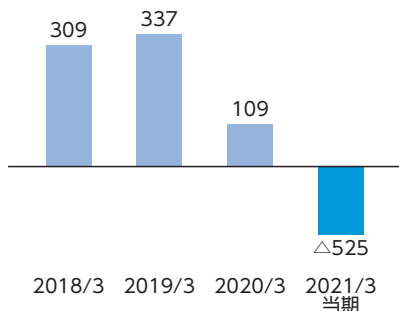
売上高
18,311
百万円

■ 営業利益 (単位:百万円)



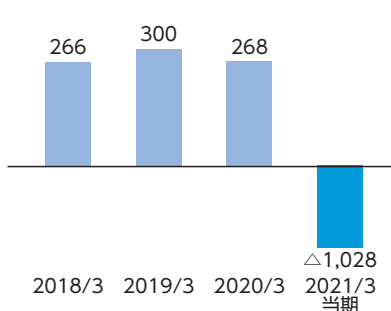
営業利益
△515
百万円

■ 経常利益 (単位:百万円)



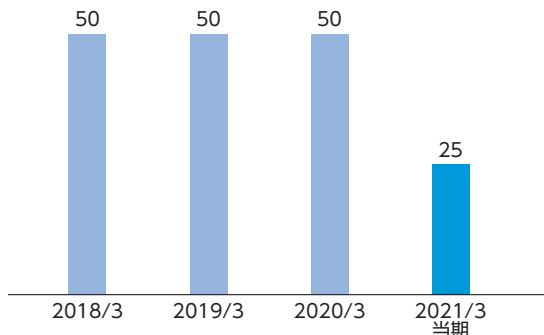
経常利益
△525
百万円

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

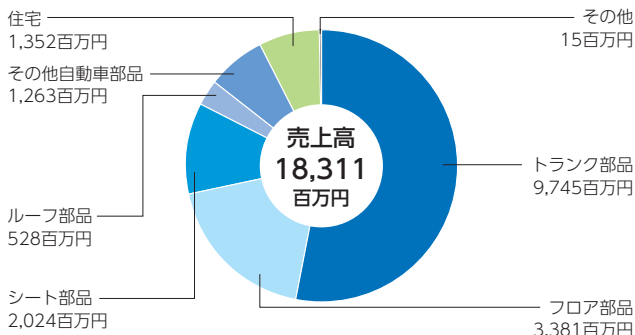


親会社株主に
帰属する
当期純利益
△1,028
百万円

■ 1株当たり配当金 (単位:円)



■ セグメント別・部品別売上高



■ 会社概要

商号 盟和産業株式会社
英文商号 MEIWA INDUSTRY CO., LTD.
本社 神奈川県厚木市寿町三丁目1番1号ルリ工本厚木
設立年月日 1956年5月8日（登記上は1950年11月30日）
主な事業 1. 自動車内装部品の製造・販売
2. 住設資材等産業資材の製造・販売
資本金 21億6,700万円
従業員 251名（2021年3月末現在）
決算期 3月31日（年1回）
上場取引所 東京証券取引所 市場第1部（証券コード7284）

■ 営業所及び工場

本社 中国統括部
東京営業部 長野工場
東海営業部 甲府工場
広島営業所 岐阜工場
住宅営業部

■ 子会社

盟和（大連）汽车配件有限公司
盟和（佛山）汽车配件有限公司
MEIWA INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
MEIWA INDUSTRY NORTH AMERICA, INC.
MEIWA INDUSTRIA MÉXICO, S.A. DE C.V.

■ 取締役（2021年6月25日現在）

代表取締役社長 飯塚 清
取締役専務執行役員 丸茂 康弘
取締役常務執行役員 湯澤 伊知郎
社外取締役（監査等委員） 三浦 孝昭
社外取締役（監査等委員） 原 秋彦
社外取締役（監査等委員） 森山 弘和
社外取締役（監査等委員） 千野 廣司

■ 株式の状況（2021年3月末現在）

①発行済株式総数 3,502,859株
②株主数 3,203名
③大株主

株主名	持株数
太陽生命保険株式会社	210,120
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	188,000
株式会社 陽 栄	180,355
株式会社 三井住友銀行	130,926
株式会社 プライムポリマー	119,200

株主メモ

決算期 3月31日
配当金受領
株主確定日
利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
定時株主総会 6月中
基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することのできる株主とみなします。
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株
公告の方法 電子公告
(下記ホームページに掲載いたします。)
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問合せください。



※この報告書に関するお問合せは下記までお願いいたします。
総合管理部 電話046 (223) 7611
<http://www.meiwasangyo.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

